

戦評用紙

平成30年度 関東高等学校バスケットボール埼玉県予選会

平成30年5月18日

会場 越谷市立総合体育館 コート 第 4 試合

性別 男 準々決勝

対戦カード	本庄東 高校	18	—	13	春日部東 高校
TOTAL	53	14	—	24	87
		12	—	17	
		9	—	33	

第1P、両チームともハーフコートマンツーマンで試合開始、先制したのは春日部東。その後、春日部東は#8のインサイドを中心に得点を重ねる。一方、本庄東は#5と#6の速攻を中心に応戦する。両チームとも慎重な試合展開となるが、本庄東の素早い展開からのプレーが目立ち、第1P終了時には、18-13で本庄東がリードする。

第2Pはお互いに得点を取り合う展開となる。始めに仕掛けたのは春日部東。#4がゼロ度のシュート、速攻からエルボーでのジャンプシュートで得点、#9がボールサイドへ飛び込みバスケットカウントを奪う。一方本庄東は#6のスリーポイントや#9、#10の速攻やドライブから得点を重ねる。しかし、春日部東も負けじと速攻を中心とする早い展開から、#4、#8が連続でバスケットカウントを奪い、流れを引き寄せ始める。その後も春日部東は#4が中心となり得点を稼ぎだす。本庄東は徐々にチームファールが増え、苦しい展開となるが、#10のドライブで得点のリズムを作り、食い下がる。第2P終了時には32-37で春日部東がリードを奪い返す試合展開となった。

第3P、春日部東の勢いは止まらない。#4、#7の連続スリーポイントと#8のゴール下シュートで一気に8得点を奪い、得点を13点差にまで広げる。本庄東はTOを取り、選手たちを落ち着かせ、もう一度流れを呼び込む雰囲気を作る。その後はお互いに得点が停滞する時間帯となるが、春日部東のDFが機能し始めることで、少しずつその点差を広げ、最終的には44-54で春日部東がリードをゆずらない。

第4P、春日部東は#9の連続スリーポイントと#9の速攻でさらに得点差を広げる。本庄東はTOを取り、その後はオールコートマンツーマンで懸命に食らいつき、チャンスを作るも、アウトサイドシュートとDF力で勝る春日部東がベスト4を決める形となった。

(記録者: 八潮南 高校 山崎 潤世)